

途上国に住む盲目の子供たちを支援する



認定NPO法人

ヒカリカナタ基金



ヒカリ届けます 遥かカナタまで

● 特集 ●

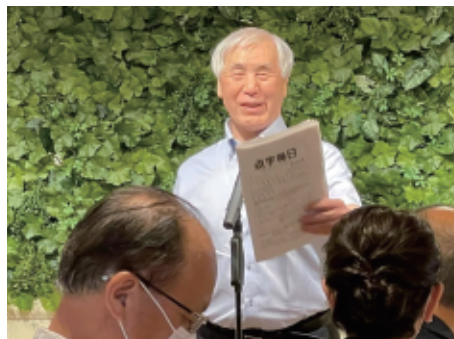
毎年8月25日は「ヒカリをカナタに届ける日」





毎年8月25日は「ヒカ리를カナタに届ける日」

認定NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内昌彦



今年も3月18日の「点字ブロックの日」記念行事を3月18日と20日の2日間で行いました。18日は岡山駅に集まってくださったボランティアさんとチラシやティッシュ配りを。20日の式典では、全盲の弁護士 大胡田誠氏に講演をしていただきました。その中で私の心に残ったのは、彼が慶応大学の講義を受けたときのお話でした。「点字でノートを取る時の音がうるさいという声があります。邪魔にならないように教室の後ろに移動してください」教員からそう言われたそうです。ところが大勢の学生から「問題ありません」という声があり、大胡田さんは後ろに下から



なくてよかったという話です。学問では優れた教員かもしれないが、一件の苦情を無条件に聞き入れてしまう無頓着。しかし多くの学生の心には仲間を大切にしようとする優しさが育っている。心の感度は学問や知識とは違うところにあることを教えられた講演でした。それから8月25日は「NPO法人ヒカリカナタ基金」の設立記念日ということで、あらたに「ヒカ리를カナタに届ける日」が日本記念日協会に登録されました。そのお祝いを8月28日に行い、日本記念日協会代表の加瀬清志さんによる講演と、これまでの基金の歩みを報告させていただきました。この夏にはもう一つ特別なことがありました。大阪の支援者で元眼科医の大月博視さんから、たくさんの美術品が基金にプレゼントされたのです。そして中でも一番大きな絵を私にくれださるというのです。宮永岳彦氏による油絵の美人画でした。大阪まで受け取りに行った谷口さんが、「ひとりで運ぶのに苦労した」という大作です。しばらくは我が家に飾っていたのですが、全盲の私が持ち主では絵も残念ではないかと思い、大月さんの了解を得てテレビの「開運！なんでも鑑定

団」のお宝売りますコーナーにチャレンジすることにしました。今田さんと福澤さんによる軽妙な司会の元、短い時間の中で基金



の紹介と絵の鑑定がおこなわれ、なんと350万円という評価額となり、放送後には数十件もの購入申し込みがあったと聞いています。感謝！これだけで100人の子どもの目を治療することができます。それからこの絵と一緒にプレゼントされた、その他の美術品もチャリティーオークションにて落札していただき、めでたく現金化することができました。もちろんそのお金も目の不自由な子どもたちのところに送られます。そんなわけで忙しくうれしい夏となりました。さてコロナも間もなく治まってくると思われま。ツアーを組みますから皆さん一緒に途上国の目の不自由な子供に会いに行きましょうね！

これまでに508人の子供達の目が見えるようになりました。

国名	キルギス	ネパール	モンゴル	ミャンマー	カンボジア	合計
人数	150人	21人	5人	16人	316人	508人



中央アジア

キルギスのアリハンくん（9歳）のおかあさんからのメッセージ

皆様、こんにちは。アリハンの手術のご支援ありがとうございます。心から感謝を申し上げます。アリハンは今まで他の病院で手術を受けたことがあります。残念ながら視力は良くなりませんでした。お医者様の話によるととてもリスクが高い手術だったそうです。手術の日の翌日にはお医者様に、包帯を外していただき、経過は良好です。日本の皆様のおかげです。あらためてアリハンの手術のご支援ありがとうございました。（2022年3月）



カンボジアのコーチくん（6歳）のおかあさんからのメッセージ

息子のコーチはまだ学校に通っていませんが、おもちゃの車で遊ぶのが好きで、自転車に乗ることを練習しています。1月に目を怪我してしまい、それが原因で外傷性の白内障になりました。その時は食べること、歩くこと、顔を見分けることが難しく、外に出るのを恐れていました。このたび、ありがたいことに無料の手術をしていただき、今はちゃんと見えるようになりました。コーチは友達と楽しく遊んだり、一生懸命勉強するために学校に通うのを楽しみにしています。日本のみなさん、コーチを助けていただき本当にありがとうございました。（2022年3月）

ヒカリカナタ基金 理事長 竹内昌彦

自叙伝「ヒカリをカナタへ」出版のお知らせ

竹内理事長が自らの体験をつづった著書「見えないから見えたもの」の改訂版。途上国の目が見えない子供を治療するために、著者が設立したヒカリカナタ基金の活動について加筆した。幼少期から現在まで、数々の困難に立ち向かい、ひとつひとつ乗り越えて成長していった波乱の人生の物語。全盲の自分を支え見守ってくれた家族、恩師、友人達への思い。すばらしい出会いと悲しい別れ。そしてどんな時も前向きに歩んだ竹内理事長が語る「生きる意味」「命の尊さ」そして「見えないから見えたもの」とは。心揺さぶられる一冊。



1500円/A5判/365ページ/高さ21cm/単行本(ソフトカバー)



2021年度活動報告

- 2021年4月21日 ●点字の経本（おかんき）作成
- 2021年6月10日 ●認定NPO法人ヒカリカナタ基金 第5回通常総会
- 2021年8月24日 ●竹内理事長 パラリンピック開会式で聖火ランナーに
- 2021年11月8日 ●モンゴル大統領から友好勲章受章
- 2021年12月11日 ●障害者自立更生等厚生労働大臣表彰
- 2022年2月23日 ●ジャパンハート 吉岡秀人先生の講演と対談会（笠岡市主催）
- 2022年3月18日・20日 ●点字ブロックの日制定記念啓発活動、記念式典、記念講演会

会計報告

2021年活動計算書

2021/4 /1~2022/3/31

経常収益

受取会費	383,000
受取寄付金	10,730,662
合計	11,113,662

事業費

キルギス事業費	2,155,086
カンボジア事業費	2,952,821
モンゴル事業費	123,000
点字ブロック事業費	390,969
事業費合計	5,621,882

事業管理費

人件費	0
その他経費	493,021
事業費合計	6,114,903

運営管理費

人件費	0
その他経費	1,867,770
当期正味財産増減額	3,130,989
前期繰越正味財産額	6,759,459
次期繰越正味財産額	9,890,448

賛助会員募集中!

皆様からの寄付金が集まって、子供達の目の手術代となります。皆様のあたたかい思いやりをひとつに結集して、できるだけ大きな支援を目の不自由な子供達に送り届けましょう! 下記の年会費を納入していただいた時点で賛助会員となりますが、翌年以降の継続、退会は自由です。

後日、メールか郵送で活動報告の広報誌等をお届けします。

※また年会費以外に、通常の寄付も随時受け付けておりますので、同じく下記窓口からよろしくお願いします。

年会費
個人の方 (1口) 3,000 円/1 年間
法人の方 (1口) 5,000 円/1 年間

※法人様はできれば2口以上からお願いします。

毎月の寄付も可能です

金額はいくらからでも構いません

認定 NPO 法人ヒカリカナタ基金への寄付は税制上の優遇措置が受けられます。

下記のいずれかの窓口でお振込みください。

銀行 金融機関

ゆうちょ銀行
お振込みのご案内

■ ゆうちょ銀行もしくは郵便局からの場合
 ゆうちょ銀行
 振替口座
 口座記号番号：01380-4-106091
 口座名義：特定非営利活動法人 ヒカリカナタ基金

■ 他の銀行、金融機関からの場合
 銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード9900）
 店名：一三九（イチサンキユウ）（店番139）
 預金種目：当座
 口座番号：0106091
 口座名義：特定非営利活動法人 ヒカリカナタ基金

インターネット

■ 「ヒカリカナタ基金」ホームページから。



www.hikarikanata.com

電子決済



PayPayをご利用の方は必ず入金情報を事務局までお知らせください。
 <金額、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、メールアドレス>
連絡をいただけない場合、どなたからの入金か不明となります。
 ヒカリカナタ基金事務局の連絡先は下記参照ください。



認定NPO法人
ヒカリカナタ基金

◎事務局

〒700-0925 岡山県岡山市北区大元上町12-11
 Tel : 086-242-3535 / Fax : 086-242-3311
 E-Mail : npo@hikarikanata.com

www.hikarikanata.com

ヒカリカナタ基金



竹内昌彦「ヒカリカナタ基金」
www.facebook.com/hikarikanatakikin



竹内昌彦
twitter.com/masahikotakebot

- ポスターの掲示場所、募金箱設置場所を募集しています。
- 点字の広報誌もあります、ご希望の方は事務局にご一報ください。